

放課後等デイサービス 自己評価表

事業所名		放課後等デイサービスはびねす	記入者名			青木 佐恵美
		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○	○		トイレ・廊下は手すりあり。玄関は段差あり。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	○		次回の支援にいかしてる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			結果を今年の運営に生かしてる。
	⑥	この自己評価票の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページに公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○	○		外部の研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			アセスメントを行い客観的に分析し計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			固定化しないようにレパトリーを考えている。季節ごとのプログラムを考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか。	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○	○		時間がある場合は必ず打ち合わせしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			帰りの送迎があるため終了後にはできないため翌日時間があるときは行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			3～6か月に一度、定期的に支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者と	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			色々な活動を通して成功体験を積み、自己肯定感を高める。他者とのコミュニケーション力を培う。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			保護者を通して情報を得ている。

③自己評価票

し の 連 携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		○		対象者なし。
		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		保育園や幼稚園が個人情報の理由のため難しい。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		対象者なし。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		○		必要に応じて対応。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○			地域の公園で他の児童と遊んだりしている。平日は無理ですが長期休暇・休日など障害のないお子様と活動しています。
	②⑦	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	②⑧	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時やライン、家庭内支援・などで伝えている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	○			ペアレントトレーニングの支援を行っている保護者さんもいます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行えているか。	○			契約時に説明を行っている。随時質問がある場合は、職員が説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			随時対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	仕事をしている保護者が多いため1度しかしていないがコロナが落ち着いたら検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応するようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			ホームページに記載している。ラインを活用している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか。	○			外部に情報が漏れないように徹底した管理をします。契約の時にも保護者様にお話しをさせていただいています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			分かりやすい伝達方法を工夫している。
非 常 時	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	放デイに通っていることを知られたくない保護者もいるので難しい部分もある。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			事業所内に設置してあります。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年に数回 地震・防犯・不審者・火災の訓練を実施しています。日々の活動に取り入れています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			外部の研修に職員が参加したり、内部研修を年に2～3回行っている。

③自己評価票

<p>対応</p>	<p>④①</p>	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p>計画書に記載し保護者に説明している。対象児童の利用者の保護者様には十分に説明を行い同意を得た上でサインをいただく。</p>
	<p>④②</p>	<p>食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p>医師の指示書。保護者からの話を聞いて対応している。</p>
	<p>④③</p>	<p>ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p>危険な事例があった場合は、報告書に記載しミーティングを通して職員間で共有している。</p>

;